

## 境港市社会教育委員会 会議録

平成 27 年 7 月 21 日

境港市社会教育委員会議（平成 27 年 7 月 21 日委員会議 会議録）

|         |                  |           |
|---------|------------------|-----------|
| 召集年月日   | 平成 27 年 7 月 21 日 | 15 時 00 分 |
| 召 集 場 所 | 市役所第一会議室         |           |
| 開 会     | 15 時 00 分        |           |
| 出席委員    | 岩間 悦子            | 遠藤 恵子     |
|         | 門脇規矩子            | 門脇 哲也     |
|         | 田中 茂人            | 土田 良和     |
|         | 山本美千枝            | 渡邊 憲二     |
|         | 遠藤 恵裕            | 梶川恵美子     |
|         | 角 徹              | 十河 淳      |
|         | 畠山 陽子            | 松田 寛彦     |

説明のために出席した者

|        |       |
|--------|-------|
| 教育長    | 佐々木邦広 |
| 生涯学習課長 | 黒崎 享  |
| 生涯学習係長 | 濱田 潤  |
| 文化体育係長 | 竹内 勝  |

説明以外の出席者

境港市教育委員会教育委員長 足立ひとみ

|         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 傍 聴 者   | なし                                  |
| 会 議 書 記 | 濱田 潤                                |
| 報 告 事 項 | （１）平成 27 年度社会教育関係事業概要について<br>（２）その他 |
| 協 議 事 項 | 教育委員会の点検評価について<br>（社会教育事業）          |
| 閉 会     | 17 時 15 分                           |

( 1 5 : 0 0 開会)

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生涯学習課長 | 開会                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 教育長    | 挨拶                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 生涯学習課長 | 委員の説明                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 生涯学習課  | 説明 (社会教育委員について)                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|        | 報告 (平成 27 年度社会教育関係事業概要について)                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委員     | 成人式を正月にする考えは。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 生涯学習課  | 正月 3 ヲ日にしては、成人の日にしては等々々な意見をいただいております。過去に「その年の成人者」や「来年度の成人式対象者」等に何度かアンケートを実施させていただいており、その結果としては「成人の日の前日」現状が良いということで、一番多くの声をいただいております。また、聞くところによりますと、西部地区でも、本市と同じ日に実施している町村もあれば、3 ヲ日に実施している町村もあります。これをずらすとなりますと着付け等の関係も難かしくなるようです。県とも相談させていただきましたが、棲み分けも出来ていますし、アンケート結果も出ておりますし、現状の日が良いのではと考えております。 |
| 委員     | 正月に帰って、また帰ってこないといけないと聞いています。県内 3 市は、1 月 3 日に行っているようですが。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 生涯学習課  | 1 月 3 日にしますと、さっき話しました美容院とか、さばき切れない人も出てくるのかと。確かに、一度正月に帰省して、また帰って来ないといけないという意見もあります。今後も、アンケート等を見極めて日程を決めていきたいと思います。一方で定着していますので、バランスも見ながら考えていきます。                                                                                                                                                   |
| 委員     | 保健体育総務費についてですが、昨年韓国は参加出来なかったですが、今年もまた参加出来ないのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                |
| 生涯学習課  | 東海市からの回答によりますと、江原道の道内の大規模なスポーツ大会がちょうど同じような 10 月の中旬にあり、陸上関係の皆様がそちらの大会に参加され、境港市に来るのは難しいとご回答をいただいております。昨年は、国体が毎年 10 月 20 日頃のスケジュールで開催されておりました、東海市や江原道の陸上関係者はそちらの大会に出なければならないということで、韓国の皆様には、参加しにくいスケジュールのようです。                                                                                        |
| 委員     | 境港市も韓国のスケジュールを頭に入れて考えなければならないと思います。実際、本当にそうなのかどうか政治的なにおいもするような気がしますが。                                                                                                                                                                                                                             |
| 生涯学習課  | 国体の日程は、確認しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

委員                   この件については、また実行委員会で話をしたいと思います。他のスポーツ団体で韓国と交流している団体はありますか。

生涯学習課           スポーツ少年団につきましては、サッカーチームのアミーゴさん。毎年、交流をされておりまして、DBS で韓国東海市に行き地元のチームと交流し、また、年によってはウラジオストク市まで足を延ばし交流をしております。今年度も、行かれる予定で検討されていましたが、韓国のマーズが流行っておりまして、見合わせられたと伺っております。

生涯学習課長        昨年は台風がちょうど 8 月にきまして、やむなく断念されたという経過もございます。2 年行かれない状況になっております。普段は 8 月の上旬は台風はきませんが、自然現象もあり、断念されています。

委員                   サッカーだけですか。

委員                   ウォーキングが交流していると聞きましたが。  
市は関わっていませんが、鳥取県がウォーキングの連盟と江原道と交流をすすめられて、未来ウォークに韓国の方も参加されているようです。

教育長               「河童の泉」まで来られ、平井知事と江原道の知事がお出迎えをされ、挨拶をされて締めくくられました。かなり東の方から歩いてこられました。

委員                   アートスタートは、市独自の事業ですか。

生涯学習課           財源といたしましては、県の補助金です。元々県が各民間団体に直接補助していましたが、平成 23 年度から市町村が補助を行い、県から後程補助をいただく。現在は、市から各実施団体に補助しています。

委員                   実質的には、市は登録だけで、持ちだしはないんですね。

生涯学習課           実行委員会に加わり企画の段階や当日の運営のお手伝いをさせていただいたり、市報やホームページで広報をさせていただいてます。

委員                   ピアノコンクールの参加者が減っていると聞いていますが、また、成人式、市民スポーツ大会の参加者も減っているのですか。

生涯学習課           成人式につきましては、例年対象者の 8 割の方にご出席いただいております。対象者の中には、自衛隊の方や外国の方も含まれており、このような方々の出席率は良くないですが、だいたい同じくらいの方数の方にご出席いただいております。

生涯学習課           ピアノコンクールにつきましては、過去には百数十人の方に参加いただいたこともございましたが、今回は 79 名でして、ここ数年はだいたい 70 ～100 名の参加で推移しております。お子様の数自体も減っておりまして、やむをえないとも思いますが、引き続き参加を呼び掛けていきたいと考えております。健康ウォークにつきましては、昨年べた踏み坂の効果もあり、100 人を超えましたが、今年は同じコースということもありまして減ってしまいました。例年の平均でいきますと 50～60 人ではありますが、コース

や日程を工夫して参加者を増やす努力をしてまいりたいと考えております。

教育長

ウォーキングにつきましては、以前は台場公園からスタートして水木ロードを歩くというのが続いておりました。趣旨といたしましては市内にウォーキンググループがありまして、そのグループと一緒にやるというのが中心にあり、せっかくやるのなら幅を広げて今までやっていなかった方にも参加いただけるということで、境港管理組合とも相談し、べた踏み坂で行いました。ぜひもう 1 年やってくれということもございまして、他にも色々コースを工夫して、例えば夕日ヶ丘のメモリアルパークを通るとか、私が提案しておりますのは、自衛隊の中を歩けないか。空港の方は危険ですが、航空祭しか入る機会がございません。地元の方は航空祭にあまり行かないこともございます。許可があれば中を通して、中には資料館もございますし、見たことがない方もいますので、コースに含めることも含めてアレンジを加えて、PR 活動をしなればと思っております。

生涯学習課長  
委員

説明 （美保飛行場周辺まちづくり構想について）

おんぼらとした話は聞きますが、具体的な形とか、例えば客席は、図書館を入れるかどうか等は決まっていますか。

生涯学習課長

図書館を入れるかどうかにつきましては、構想の中で図書館機能も入れましようとなっています。今年度、基本計画の中で座席数は、可動式か固定式か、図書館の規模はどのくらいのものにしようかということを含め、ある程度の概算費用も出します。それについて皆様の意見を聞くというような形で進めていくところです。

委員

基本的には規模がどうであれホール、舞台があつて、客席があるものを作る考えですか。

生涯学習課長  
委員

それが大前提です。

今と同じような市民会館は出来ないとおっしゃっていたと思いますが。

教育長

今の市民会館は、ホール棟と会議棟がございます。ホール棟がダメでございますからホール棟を壊します。現在は上の階はございませんが、おそらく縦長の何階建てかの建物になります。そのホールがどこの階に出来るのか。ホールが建物の中の一部と考えていただいた方が良いかと思えます。現在はホールがメインです。現在のホールが 1100 人入るホールです。1100 人入るホールが必用か否かが議論の的となっています。例えば、興業を行って収益をあげる。事業団が有名な歌手を呼んでコンサートを行うとなった場合、1000 人から 1200 人ないとペイ出来ない。現状で、1100 人のホールが満員となる日は年に数回しかありません。それがどんな時かと言いますと、自衛隊の楽団が来た時と境高の学校際の時と、それからカ

ラオケ大会のたくさん入った時、NHK のど自慢等です。それから、境港寄席。境港寄席は現在 2 回に分けて文化ホールで行っていただいている状態です。そうしますと、1000 人でいくのか 800 人でいくのかそれともまた別の数値。固定席にするのか。可動席にして、例えばコンベンションセンターのように席を取り払った時にそこがまた別の用途に使えるといったものにするのか。図書館につきましては、なんとか書庫を兼ねたいと考えています。視察に行かせていただいた時に広い図書館で、その中に児童書のコーナーがありました。また、カウンターがあり、すぐ後ろには可動式の書庫があります。数万冊の本が後ろにあり、すぐに持って来ることが出来ます。出入り口は、盗難防止がついています。そういったものが良いのではと思っています。ホールをつくりますと、音楽関係や演劇関係の方は楽屋が必要となります。リハーサル室が必要となります。その部屋が確保出来るのか、リハーサル室として専用の部屋が確保出来るのか。会議室と兼ねた部屋にするのか。動くときに出来るだけ他の人の目に触れないようにというの也有ります。今の市民会館で苦情が多いのは、会議室で準備して雨にぬれるところを楽器を持って出ていかなければならない。このようなことを考えますと、頑張るのが教育委員会の仕事です。総予算もございますので、全部いれたら 10 億 20 億と予算を超えてしまいましたはいけません。市民の皆様の意見を聞きつつ全部実現することは難しいというところでございます。

委員 防災拠点として作られるにあたり、美術品を展示するスペースは出来るのでしょうか。

教育長 常設は難しいです。常設は美術館です。美術館・博物館を常設にしておくことは難しいです。しかし、今の会議室のような蛍光灯やパネルではなく、出来るだけ良い環境で展示が出来るように、有名な作品を持ってきても恥ずかしくない展示場に出来るように考えています。

委員 図書館については、今よりは素晴らしいものに・使いやすいものにしていただきたいと思います。今の図書館は行きたくなるような図書館ではありません。県立の図書館は素晴らしいと思います。

教育長 米子市にも立派な図書館が出来ました。本市の図書館も出来た時はものすごく評判が良かったです。ガラスブロックがあり、明るいところで子どもが児童書を読むコーナーが作ってあります。置ける本の絶対数が少ない。要望がどんどん出てくる中で、初めはあまり高くなかった本棚をすごく背の高い本棚に変えてあります。本棚の背が高いため向こうのせっかくのスペースが入口から見えません。それから本を増やそうとしたために、上に学習室がありますが、駅の待合室かと言われるんですが、プラスチック

クの椅子が並べてあって、新聞や雑誌を読むのがやつのスペースとなっています。現在の施設はおいといて、新しい施設の中に図書館が出来ることを目指していきます。

生涯学習課長

図書館は必須だと思っていますし、構想でもそうになっています。防衛省サイドとも様々な協議をし、図書館は補助対象となることを踏まえたうえでこの事業に向かっています。

委員

費用は全額防衛省の補助ですか。

生涯学習課長

75 パーセントは補助金で、例えばカフェ等営利的な施設が入るとしたら、その部分は補助対象外となるかもしれませんが、全体の構成から言いますと大きな額ではありません。基本的に、防衛省には基本構想・基本計画に基づき作った施設は補助対象だと言っていると思います。あれはダメというのは基本的にはありません。極力補助対象にとれるように防衛省と折衝していきます。市の持ち出しが増えないようにしていきます。

委員

教育長に頭の隅に入れておいていただきたいんですが、こういう施設が出来た時には未来の子ども達のために壁面を利用して文化・スポーツで著名な方を紹介してほしいと思います。米子の市役所に入ると壁に活躍した人が並んでいます。そういう人たちが境にはどういう人がいたのかと思います。壁面を利用すればいいと思います。基準は色々あるでしょうが、その辺は検討していただいて、歴史に残るようなものをしてほしいと思います。お金のかからない方法で、考えてみてください。

教育長

新しい文化施設が出来た際にどんなものを壁面に飾るか。市民体育館を現在やっていますが、建て替えではなく耐震補強です。見違えるようにはなかなかありません。壁面と言っても今あるものを活用することになると思います。

市民体育館の話をさせていただきます。当初の予定では、平成 26 年度に耐震診断を実施し、平成 27 年度は 1 年置きまして平成 28 年度に実施設計、平成 29 年度に耐震補強工事という計画でした。平成 29 年度末いわゆる平成 30 年 3 月末が、耐震補強完了の予定でした。この予定ですと遅すぎますので、何度も陳情に行きまして、今年度実施設計の予算をつけてもらいました。今年度実施設計を行いますので、なんとか来年度耐震補強工事をということで進めております。しかし、はっきりとした返事をいただいたわけではありません。発表がないといけません。おそらく何とかなるのではないかと、平成 28 年度末いわゆる遅くとも平成 29 年 3 月末、出来ましたら平成 28 年中に完成するように頑張りたいと思っているところでございます。ただこれに伴いまして、公民館の改修が当初上道公民館を進めておりましたが、上道公民館の予算が今年度つきませんでした。こ

れを少しでも早くなるようにたいと考えています。市民体育館の耐震補強工事、公民館改修を両方一度に進めております。閉まっている体育館を何とか1日でも早く開けれるようにしたいと考えています。

それから活躍した人たちの話がありました。「境港の先人たち」をご存知でしょうか。子ども達に以前配ったものですが、「その1」と「その2」がございますが、いっぺん配って終わりになっておりました。今年から中学校2年生になったら全員に配ることにしました。それと、今、来年度要求に挙げようとしていますが、境港市のホームページの中にネットミュージアムを作ります。インターネットの美術館・博物館的なものをクリックするのですね、その中に市の指定文化財を写真で見れる。境港の古地図だとか、その中に境港の先人達やかつて活躍した人達の資料もそこから入っていく。インターネットに載せきれないものは、市史編さん室に行ってくださいと見れますよと繋がっていく。こういったことが出来ないかと検討しているところです。

委員 素晴らしい。ウィキペディアで見っていくと境港の先人達がたくさん出てきます。しかし、この情報が確かなのか不確かなのか分かりません。ウィキペディアは、正しいのかという思いでいつも見ているので、市が提供してくれるとすごくありがたいです。

教育長 市史編さん室には、資料をデータに置き換えるように指示しています。市史編さん室員も市報を書くだけではなく、それを日々の業務とすることが出来ます。

生涯学習課 説明 (教育委員会の点検評価について)

委員 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業についてですが、見守り隊ですけど、主体はどこであるべきだと思いますか。

生涯学習課 各地区で様々な団体が主体となって行っているようですが、青少年育成境港市民会議の地区部会であったり、地元の老人クラブの方々であるとか、生涯学習課としては、地区部会さんにやっているのが多いのかなとは思っていますが、必ずここでなければならないということはないと思います。

委員 我々はずっと行っていますが、一度も学校・PTAから「お願いします」、「子ども達の安全を見守ってください」と言われたことがありません。私は、学校・PTAが主体であって、地域の人をお願いする。それが、自然であり、流れだと思います。もし、見守りをして、交通事故でもあったら我々は追及されます。「お願いもしていないのに勝手にやって、ちゃんと見れや」と言われかねません。最近、下校時間に学校まで来てくれる人が少なくなったと言われたみたいですが、それであるならば、地域

に学校から出て行ってお願いすべきだと思います。老壮クラブの会合に出て行ってお願いしますね、見守ってくださいね。グランドゴルフをしているところに行って、お願いしますね。それが自然な流れだと思いますが、そういったことが一度もありません。私は明らかにおかしいと思います。学校のこと、子どものことならお願いしなくてもやってくれると思っているんじゃないでしょうか。子どもは可愛いです。見守ってあげたいと思います。しかし、何かあった時に追及されかねません。地域によって違うと思いますが、余子や上道さんは積極的に行われていますが、これまではそういった事例がなかったので、これからもないと思っているのではないかと思います。もし、あった時のことを考えると恐ろしくて出来ません。もう少し、学校や PTA に考えてほしいと思います。

委員

言われることは、ごもっともです。はっきり言いまして、私は市民会議の会長であり、地区部会長ではありませんが、地域の方をお願いして何とかしています。学校の先生が依頼に来ます。様々な会に出ます。地区部会長にもお願いしますが、PTA 会長は何も言いません。今の若い人は、やってもらうのが当たり前だと思っています。地区部会長さんが、頭を下げられる。PTA 会長は知らん顔、会議にも遅れてきます。また、責任問題は私は当然親の問題だと思います。ボランティアで出てきてもらって、見守ってもらって、それ以上のことは追及されても知りませんと言おうと思っていますが、あくまで親の責任だと思います。この問題は本当に難しい。学校の先生は、校門から出たら並んで帰りなさいと一生懸命に指導しています。警察も学校に行って指導しておられます。例えば、横断歩道があります。歩く位置も指導してありますが、一度帰ってしまいますと道いっぱいに歩いています。どうしようもないことですが、お互いが原点に立ち返って、PTA からお願いすべきですし、もしその時に何かあった場合には親の責任ということははっきりと言ってもらって、みんなで子ども見守っていただきたいと私は思います。

委員

見守り活動は、全部の小学校で行われているんですか。

委員

それぞれの地区によります。渡では、地区部会の方に出てもらっていますが、最近はある自治会と出ない自治会とがありまして、私のところが一番出る人が少なくて苦慮しています。上道さんとか誠道さんなのですが一生懸命で、外江さんもこの頃は一生懸命です。地区ごとに色々と考えられて実施されています。

委員

下校時に放送されますよね。あの放送を聞いて、私も犬の散歩をしながらお帰りって言おうかなとか、いつも優しい声でアナウンスされるので良いなと思っていました。ここで言うべきか分かりませんが、実はアナウン

スが赤ちゃんの睡眠の妨げになっており、あの放送が流れる度にせっかく寝ている赤ん坊が泣いてしまって、何とかならないですかねとこないだ聞きました。しかし、放送を無しには出来ませんので、丁寧に長くされるアナウンスを短くならないかなと思います。丁寧に長くされるアナウンスを気持ちよく聞いていましたが、立場によってはそういうこともあるのだなと先日聞きました。

委員 色々ありますね。中には、「お願いします・お願いします」と言って、一度くらいは「ありがとうございます」と言うべきじゃないかと言われる。それで渡では、金曜日にだけ「1週間見守っていただきありがとうございます。また来週もよろしくお願いします。」と放送しています。

委員 私は渡小学校の PTA 会長をさせていただいてます。見守りについては、おっしゃるとおり PTA がもっと関与して、いつもしていただいていることに対して感謝の言葉を必ず言わないといけないと思っています。このことに関しましては、PTA の会長が集まるときなど機会を捉え、積極的にこういうことに関与してくださいと伝えたいと思います。よろしくお願いします。

教育長 今、お話に出ていたのは 3 者の連携ですよ。学校と家庭と地域との連携の話、これはずっと前から言われてきています。特に見守りのことを言いますと、今保護者の方もほとんどの方が両方とも働いておられるという状況の中でなかなか見守りに参加することは難しい。ただ、会長さんが言われましたとおり、どういう状況なのか、どういう方々が自分たちの子ども達の見守りをしてくださっているのか、感謝の気持ちを持って、顔を合わせる会がどこかであつたら良いのかなと思います。連携というのが一番大切なことは、お互いがお互いの立場を理解して、そしてきちっと分担をしあうことだと思います。学校は、学校がすべきことをきちんとする。保護者は保護者がすべきことをきちんとする。地域が地域の子ども達をしっかりと育てていくのは、親の責任でもあり地域の責任でもあります。地域として何が出来るかを確保すべきですので、それを理解し合わないでこれをお願いしますはいけません。顔をあわせて話をする。学校には、学校評価委員会がありますが、そういった場に団体の方も入っていただければ良いと思います。

委員 育成会が中心となってやっていますが、実働部隊は家におられる年配です。一言言っているのが、若い者はなかなか時間がないので、高齢者にやってもらわないといけない。その恩返しは、若い人が敬老会でしますので、よろしくお願いしますと言っています。

教育長 3 者がお互いの動きを理解しながらやっていただきたいと思います。

委員 学校の校長先生は一生懸命頭を下げていると思いますが。

委員 保護者も見守りをしていただいて安全に帰れているんだということをもっと強く持たないといけないと思いますので、伝えたいと思います。

教育長 特に去年はたくさん不審者が出まして、境港市全体に危機感が漂いました。その中で今まで参加していただいていた方々も参加をしてくださるようになりまして、とても心強く感じておりました。僕ももちろん感じておりますし、保護者の方々も感じておられますので、そういったところをお互いに意思疎通が出来ますようにということです。

委員 以前に比べたら、学校の先生が地域の行事に出られなくなりました。運動会ぐらいですね。運動会は小学生がでてきますので。

教育長 私は中学校の校長でした。日曜日はたいてい学校にいました。地域の運動会が、学校の地域の運動会になって、子どもが出ますのでそれに出かけていくことが多くて、地元の運動会には、なかなか参加しないと言われていました。出来るだけ子ども達の動きを把握するという意味で、出れる範囲で。管理職はだいたい参加していると思いますが。

委員 学校の先生も忙しいと思います。

教育長 この頃は、教師の年齢層も随分変わってきています。今、年齢層 50 台が多くなっています。50 台は介護を土日はするという職員も多くなっています。また、土日は部活動で参加出来ないことが様々な面で出てきます。それは調整しながらやっております。地域の活動に出来るだけ、出来る範囲で参加するようにということは大事なことです。

委員 平成 18 年余子小学校で地域の老壮会の方と仲が良くなり、心意気で見守り活動をやっていただきました。十何人のうち必ず数人の方ついていただいていた。私も老壮会の会議に参加し必ずお礼を言っていましたし、PTA 会長さんとも年に 1 回はお礼を言いに行って、定着をしました。ボランティアで、善意でやっていただきました。欧米では、信じられません。子どもが自分で帰ることはありえない。さらわれますので。全部、親が迎えに来て確実に届ける。子どもが 1 人で帰るのはありえません。でも、日本でも不審者が出てきて、危なくなってきたので。忙しい親は、安全に帰ってきて当たり前と思っています。多少心配ですが、安全に帰ってくるだろうというのがあると思います。しみじみと感謝の気持ちを持っているのは、おそらく学校の校長だと思います。さきほど委員が言われたように、そのことは、PTA から伝えないといけない。感謝の気持ちを校長からでは言いにくいこともあると思います。最終的に、今の時代、保険の問題。ボランティアの方が事故にあった時のことが日本的であいまいになっています。そういうところにいかにメスを入れるかが課題だと思います。

言いにくいですが、昨年の3年生の担任の帰宅時間がだいたい夜の11時になっています。3年生を担当する職員は、進路指導・生徒指導があり、また、土曜日・日曜日の3時間ずつ部活もしますので、県総体もあり3週間休みがない状態です。土日のボランティア活動は、2・3人の担当者はほとんど参加します。土日のボランティア活動については、校長としては非常に気を使います。勤務じゃありませんので、命令でもありません。勤務時間と地域にお願いしている関係もありまして。3中で言えば、市民運動会に100人くらいが参加し、4・5人の教師がついていきます。PTAの方が、地域行事に参加するべきかと思います。学校対地域ではなくて、子どもは親御さんが見えていますので、親御さんたちも地域行事に参加するのが本来の姿かと思います。全部教員となりますと疲弊してしまいます。出来る範囲で教師もやっていく、しかし、保護者も参加する。3者が出るのが望ましいかなと考えています。

教育長

市民運動会は、境港市では小学校が午前中出校扱いとなっていますので、翌日が振り替え休日となります。これをやっているのは境港市くらいだと思います。よそでは、各地域が運動会をしますが、その地域の子どもは親が連れて出るという形になっています。校区の公民館を回るのは、校長か教頭が回るくらいで、一般の教職員は生徒指導担当は別ですが、たまには休みなさいと休ませているところです。私も小学校が3つ、公民館が5つございました。その5つが同時に運動会をやります。ボランティアもたくさん行きます。管理職と数人の教員で回ります。一般の教職員が地域の校区の運動会に参加することはしません。自分の地域の運動会に参加しなさいとしています。

委員

先ほど委員がおっしゃった、責任の所在は親ですか。例えば、交通事故があった。見守りの人もいた。誰の責任か、責任が負えません。

教育長

子どもの責任は親です。

委員

登下校中に何かあったら親が責任を負うということですね。

教育長

そうです。ただ、安全であるべき点検を怠っていたという場合は、学校、また教育委員会です。私が心配するのは、ボランティアの方がけがをされた場合です。

生涯学習課

ボランティアの方の保険は加入しています。ボランティアさん自身がけがをされた場合には、保険がおります。名前も登録しています。

委員

今の話しは、事業の登録された方の話しですか。

生涯学習課

今の話しは、事業での話しです。

生涯学習課長

この事業でなくても、例えば見守り隊の名簿をだしていただければ、自治防災課でボランティア団体として保険の登録が出来ます。その方が事故

に遭われれば保険がおります。

教育長

各学校で登録してくださいとお願いした方が良いですね。

生涯学習課長

議会でもボランティア団体の漏れがないように、機会を捉えて説明してくださいと言われています。こういった意見をいただきましたので改めまして見守りの団体が様々あると思います。生涯学習課の事業に登録していない団体もあるかもしれません。名簿があれば対応が出来ます。

委員

私たちがラジオ体操のボランティア活動をする場合には、責任も問われますので、必ず市の担当部署に相談に行き、保険をかけてもらうようにしています。昨年もそうですが、本日からラジオ体操を境小学校の前庭をお借りして行っていますが、許可を取ってしています。

委員

お金で解決出来ない問題もあります。子どもがもし障害を負った場合。もとに戻してくれと言われても、どうしようも出来ません。その心配もあります。

委員

責任は取れませんとはっきり言えば良いのでは。

委員

誠道は連れて帰るのですか。

委員

誠道は、ある程度のところまでつきます。

委員

渡は道路に立ってもらいだけです。横断歩道で旗を持つことはしません。不審者の抑制のために立っています。余子さんはついて帰られますよね。

委員

外江は見守り隊のタスキをかけて、黄色いチョッキを着て、地域の中を歩いています。

生涯学習課

上道はついて帰ります。タスキが抑止になります。

委員

学校から依頼があれば、相談しながらやっていけば良いのでは。地域からあるのであれば、学校や公民館と相談しながらやると良いのではと思います。

教育長

ボランティアについていた方が、親御さんから訴えられたという話はあまり聞いたことがありませんが、交通安全指導の場合に旗を出して、横断歩道を渡していたら、完全に無謀な車が突っ込んできたということが米子でありました。親御さんは決して責められえませんでした。旗を出された方は大変苦しまれたと聞いております。見守り、安全指導の場合には一緒につくにしても道に立たれるにしても抑止効果、もし助けを求められた時にすぐに助けられるようなことだと思います。誠道では、110 番の家のウォークラリーをしていただいています。見守り 110 番の家も各地区にあるはずで、各学校には把握するように言っています。実際に 110 番の家に駆けこんで助かったという事案もありますので、後をつけられてコンビニに駆け込んで、こういったことも大事にしたいと思います。

委員

学校の図書館司書は、資格のある方を雇っていますか。

- 教育長                   資格を持っておられる方もいますが、資格を採用条件にはしておりません。
- 委員                   ある方が言われるには、読み聞かせは良いことですが、読み聞かせボランティアに丸投げだと聞いています。本来ですと、例えば学校図書館司書が1年生にはこういう本を読んでもくれないかというべきだと思います。全部の学校がそうだとは言いませんが、自分の好きな本を持って行って読む。ボランティア同士の交流もない。結果、良かったか悪かったかの評価もない。昨年の中国四国地区社会教育研究大会において、沖縄県石垣島の方と福岡県小倉の方が学校支援ボランティアについて発表されましたが、大きな格差がありました。石垣島では、まず学校がこういうことにボランティアの方を派遣してもらいたいと要望を出します。コーディネーターがボランティアを選抜し、3者で話し合いを持ちます。そして実施し、その後3者で振り返りをします。現在は、学校から要望が出ているようですが、以前はそうではなくて。コーディネーターが、あそこの木を切らせてくれと切っていた。学校は誰も見に出てこない状況でした。せっかく良い事業です。
- 委員                   図書館を長く担当していましたので。まず、読み聞かせというのは読む大人が子ども達にこの本を通して伝えたいという気持ちが一番大事です。読み聞かせをしていただく方に本を選んでいただくことが第一条件です。丸投げでは絶対にありません。学校図書館司書について、境港市は司書の資格を条件にしておられませんので、資格がない方も中にはいらっしゃいますが、資格を持っておられる方もたくさんおられます。しかし、どの方も本と子どもに対しては情熱がある方ばかりです。地域のボランティアの方が、読み聞かせに来て下さるのは月に1回くらいだと思いますが、それは地域の方との交流も目的ですので、学校図書館司書や司書教諭、担任は、機会あるごとに子ども達に本を読んでいます。その他に、様々な地域の方と本とのふれあいを通して交流を深めることも目的です。ですから、丸投げでお願いしますではありません。今日は急に2人来れなくなりましたということもありました。司書等が入ることもありました。私が現場にいた時は、お仕事をしておられる方もいましたが、時間がある方につきましては、終了後に図書館に行ってくださいミーティングをしました。今日はこんな本を読んで、子ども達の反応はこうでしたと、勉強会を兼ねて、報告会をしていました。
- 委員                   それなら良いですが、そうでないところもあると聞いていました。
- 委員                   それは様々な学校があると思いますので。
- 委員                   境港市でも委員がおっしゃることを実践している学校は1校くらいだ

と思います。境港も丸投げでない方法でやっていただきたい。

もう 1 つ言いたいことは、研究大会等に是非社会教育委員の皆様に行っていただきたいと思います。参考になります。今年は鳥取市で公民館研究集会の全国大会があります。ぜひ出席いただきたい。昨年、島根県で中国四国地区社会教育研究大会がありましたが、社会教育委員は私しか出席していませんでした。県内でも岩美町、南部町が車 1 台で大会に出席されます。出席して勉強しないといけないと思います。学校教育が出来ているから社会教育はどうでもいいというのが教育委員会の考えだと私は思っています。本日の資料で「社会教育委員は、教育委員会の会議に出席し、社会教育に関する意見を述べるができる。」とありましたが、十何年社会教育委員をさせていただいていますが、一度も教育委員会に呼ばれたことはありません。

教育長

社会教育について大事な柱ですので、学校と地域と保護者が一緒になって子どもを育てますし、教育委員会との関係も言われましたが、教育委員は 5 人います。教育委員長は足立ひと美さん、委員長代理は、永井美央さん、谷田真基さん、赤石有平さん、それから、私の 5 人。教育委員会というのはこの 5 人を指して教育委員会と言います。後ろに座っておりますのは、事務局の職員。昨年度からこの社会教育委員会に教育委員長が出席しています。昨年度は、遠藤恵裕委員長が出席されたことを覚えておられる方もおられると思います。今年は、足立ひとみ委員長が出席しております。つぶさに社会教育委員会議の様子は見ておられますので、今後教育委員会定例会議を開きますが、その際にはこの会議の様子を報告していただくことになっています。決して、ないがしろにしておりません。それから、読み聞かせのことができておりましたが、図書室の職員は読み聞かせの事が第一というより、学校の中で読書活動を盛んにするようにとこれをまず第一に考えております。各学校に行っていただきますと、図書室の中の本の配列、それから図書室に入っていく動線、様々な工夫がしてあります。私は、渡小学校の図書の職員を高く評価しております。本も書いておられますが、工夫をしてやっております。読書活動は、大事なことで、図書職員にとってのメインの仕事ではございませんので、地域の方に読み聞かせをお願いしております。管理職がきちんと把握して、一番大事なことは意思の疎通だと、読み聞かせが終わった後、校長室によっていただいて、校長がいなければ教頭とその時の様子の話をしていただきたいと思います。そうすると、地域の方の学校を見る目が変わってくると思います。学校開放日がありますが、開放日だけが学校に来て良い日ではありません。1 年 365 日いつでも良いんです。ただ、1 人で来られますと怪しまれます

ので、民生委員の会等団体で見学したいと言っていたら、見ていただいて校長と話をし、帰っていただきたいと思います。色んな話が出来ます。歯に衣着せず言っていたら、校長に聞いていただければと思います。お答え出来ることはお答えしますし、お答え出来ないことは、お答え出来ません。教員とコミュニケーションをとっていただくと教員も分かってきますし。

委員

市展のことですが、市展のレベル・作品レベルを考えず、なんでもいいから人が来ればいいというものではありません。レベルを大事にしながら多くの作品を出してもらい、多くの方に来ていただく。子どもを集めればお父さん・お母さん、おじいさん・おばあさんが来る。祭では、いいと思いますが、その辺りをわきまえながらレベルの維持をするべきです。公民館まつりとは違います。運営委員会に入っていた時にこのような話をしました。境高や総合高校は作品を出していますか。

生涯学習課

書道は出していますが、絵画については以前は出していただいていたのですが、境高につきましては、美術部の顧問の先生が非常勤の方がされていることもありまして、それだけが原因か分かりませんが、今年は出品いただいております。

委員

他のところで、出品されていることがあります。立派な絵を書いています。大きな作品を書いています。高校とコンタクトを取りながらなんとか市展にも出品していただけるようにしていただきたいと思います。1つ注文ですが、今年、市民会館の会場にあがって行く階段のところに看板がありました。土台に模造紙のような紙が貼ってあり、墨で書いてありました。墨で書いてある字がどうこうではありません。いかにもとってつけたような。あれをやめた方がいいと思います。市展のレベルを落としているような気がします。つくりが悪いと思います。来年からお金をかけてでも立派なものにしていただきたいと思います。

委員

市展が大人用だと良く分かりました。資料を読んでいる時には、小中学生に門戸を開いてはと思いましたが、高齢化によって出品数が減少傾向にあることは、やはり小さいころから絵とか美術は楽しいことだよということを学校以外でも経験させることが必用だと思いました。市展に出す・出さないではなく、2年ほど前に神話を描く絵画教室に関わりました。ここで個展をされましたが、福定町出身の小灘一起さんという大阪の神話を描くことでは大変有名な方と県の美術家協会の加藤哲英さんのお二人が指導されて、子ども達、小さなお子さんから中学生まで学校ではない絵画教室をされました。子ども達がすごく楽しかったと言っていました。昔は学校でも行事で写生大会といって一日中どこかで絵を書いたりとかそうい

う機会がありましたが、今は忙しくてそういう機会也没有せん。何でもかんでも学校で、図工大会があるではないかではなく、小中学生が絵画って楽しいんだよっていう教室を、遠藤先生とか文化協会の加盟団体の方とかが、指導されるような機会を1年に1回でもすることでそういう美術を愛するような子どもを育てる機会も必要ではと思います。高齢化によって出品数が減少しているなら、このままだとずっと減少傾向で育たないと思います。絵画教室を1年に1回でも催すことは出来ないかなと思います。

生涯学習課長  
教育委員長

来年度予算にむけて、検討してまいりたいと思います。  
挨拶

(17:15 閉会)